

第 47 回 ハイキング例会開催

「浅草名所七福神めぐりと浅草寺境内菊花展観賞」

担当世話人 木頃勝紀

- 日 時 : 平成 24 年 10 月 20 日 (土) 午前 10 時 集合
- 集合場所 : 浅草文化観光センター (雷門正面向かい側ビル) 8 階展望室
- 行 程 : 大黒天 (浅草寺) ⇒⇒ 恵比須 (浅草神社) ⇒⇒ 毘沙門天 (待乳山聖天) ⇒⇒ 福祿寿 (今戸神社) ⇒⇒ 布袋尊 (橋場不動尊) ⇒⇒ 弁財天 (吉原神社) ⇒⇒ 寿老人 (鷲神社)

秋晴れの清々しい好天にめぐまれ、地下鉄浅草駅 2 番出口を上ってすぐの浅草文化観光センター (今年 4 月開設) に集合。8 階展望室からの眺めは正面に雷門から仲見世、浅草寺へと真上から一直線に見渡せ、右手には隅田川やスカイツリーの全貌が見渡せる絶好のロケーションです。

午前 10 時の集合時刻までには 13 名が集まり眺望を楽しんでいました。

浅草文化観光センター所属のボランティアガイドの 2 名の方の案内で 2 班に分かれて 2 時間の行程で「浅草名所七福神めぐり」がスタートしました。

浅草は江戸文化発祥の地と言われても過言ではありません。七福神めぐりの流行したのはその江戸時代からと伝えられております。

仏教で信仰された毘沙門天・大黒天・弁財天、支那の儒教で尊ばれた福祿寿・寿老人・布袋尊、日本の神として尊ばれた恵比須神・が福德円満の神として年の初めに一年の家内安全、息災延命を希って巡拝されました。

浅草名所七福神は九社寺ありますが、今回は石浜神社 (寿老神) と矢先稲荷神社 (福祿寿) を除き七社寺をめぐりました。

今回のコース中で印象的だったのは今戸神社で縁結びにご利益があるとかで若い女性の参拝が多く良縁願望の絵馬が数多く目立ちました。

12 時過ぎに西の市の準備をしている鷲神社にて記念写真を撮りガイドさんと別れて浅草までもどり、昼食後は浅草寺境内での菊花展を観賞して現地に解散。その後の反省会には 9 名の方が参加されました。

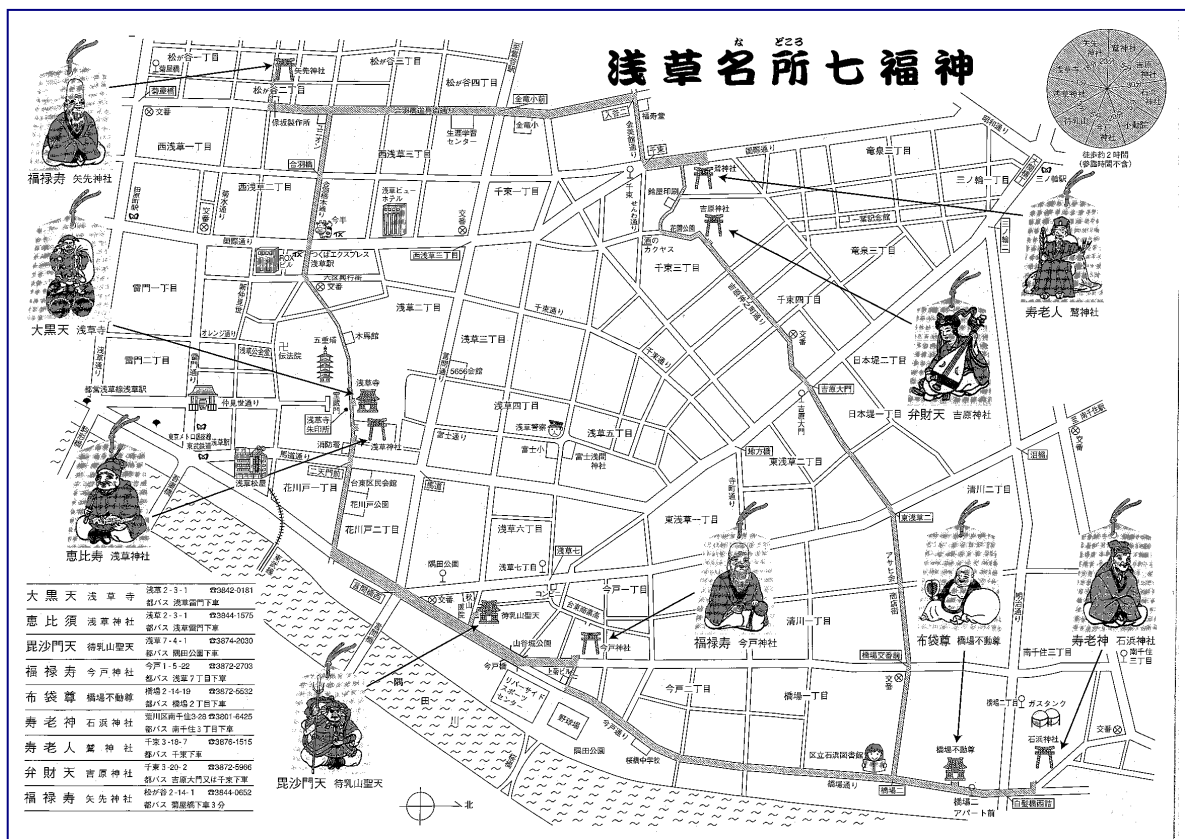
◎ 参加者 13 名 (敬称略)

岩田芳秀、宇田川修笹、遠藤哲也、川股賢三、住田勝治、中川哲夫、西長義方
野田 佑、古屋榮三、牧田賢二、明星好光、六角 学、木頃勝紀。



*浅草文化観光センター8階展望室で、ボランティアの方から浅草七福神めぐりのコース説明を受ける

*8階展望室から、スカイツリーを望む→





*** 浅草寺（大黒天）**

*** 待乳山聖天（毘沙門天）**

起源は、インド、仏教を守る四天王の一つ多聞天です。国土守護、勇気授福の仏神として広く信仰されています。



*** 待乳山聖天の約15分のスロープカー
（駐車場より車椅子で参拝できる）**

橋場不動尊（布袋尊） 中国五代のころ実在した契此（かいし）という高僧といわれ大きな腹をだし、大きな袋と団扇（うちわ）を持ち、肥満な福相をし、楽天的な和尚であり、平和安穩、家庭隆盛などを司るといわれています





*鷲神社（11月8日「一の酉」 20日「ニの酉」の準備で境内熊手を飾るポール組み立て中）
 国道教の神または、老子の神といわれていますが延命長寿を司る福神であります。白髪
 長寿の姿をあらわし、杖を持ちこれに人命長寿の巻物を結びつけ、従える鹿は、長寿の
 神使とされています。



←*浅草寺境内での
 菊花展に向かう

